



第一礼拝次第

説教：渡真利彦文牧師
司会：ラズムッセン・ジョナサン執事

前奏			
頌栄	5 4 0	会衆	
主の祈り		〃	
プレイズ	「永遠にあなたと」 「とわに礼拝します」	〃	
聖書朗読	ヨハネによる福音書 2 章	司会	
祈禱	(新約聖書 p 165)	〃	
特別賛美	エステル会		
賛美	5 2 9	会衆	
説教	「水からぶどう酒へ」	牧師	
祈禱			
賛献	2 1 7	会衆	
報告		司会	
頌祝	新生 6 7 2 B	会衆	
祝		牧師	



第二礼拝 (19:00)

説教：渡真利文三牧師

聖書：ガラテヤ 1：11-12 (新約聖書 p 342)
説教：「今も生きて働く福音」
プレイズ：「永遠にあなたと」「とわに礼拝します」
賛美：5 2 9 2 1 7



ファミリー礼拝 (9:00)

説教：渡真利千佳子姉
聖書：イザヤ 40 章 1-8
メッセージ：「キュロスを用いる神」

<巻頭言>

「神の国に生きる」

牧師 渡真利 彦文

「もしバナナがなかったら？ そんな人生考えたこともない」「週に 4 日はバナナデー、バナナはね、魔法の食材」と面白いコラムに機上で出会った。

バナナは南国のイメージ、赤道に位置しているエクアドル、有数のバナナの産地だという。バナナといえば、フィリピンが頭に浮かぶ。私たち沖縄もバナナは珍しくない。しかし、背丈の高いバナナ栽培は風を嫌う。アジア地域と比べ、台風のないエクアドルが産地の理由の一つである。

コラムは、バナナをナビゲーターにエクアドルを旅する内容であった。いつも人生の暮しのそばにあったバナナは、芸術・文化の源泉にもなっていた。

子どもの笑顔や、自然などを取り入れた作品を描くグアルサキさんのコメントが心に残った。「娘が生まれ、愛する想いを伝えたいと思い、花や果物、エクアドルらしいものを描くようになりました。特にバナナは自分の幼少期を支えてくれた果物。7 人の兄弟の大家族を支えてくれたのは母と、そしてバナナです。それを描くことは親への感謝であり、家族の歴史なんです。」と。

そのコメントを読み、私はどうだろうかと考えた。もちろん主食は「お米」なのだから、私はクリスチャンとして日々食する「御言葉」への感謝は如何にと、問われる思いがした。

「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つの言葉によって生きる」(マタイ 4:4)